

非常食のレトルトカレーを頼張る児童＝8日、南部町宮前の会見小



いつもと違う節水給食 断水被害の南部・会見地区

広範囲で断水となっていた南部町会見地区の小中学校3校で8日、「節水メニュー」による学校給食が提供された。児童たちは非常食のカレーなど、普段とは異なる給食を味わった。

参することまでできるという。(木村朋花)

節水メニューは3校の給食を作る町内の会見給食センターで水が使用できないことから提供され、3校の児童や教職員を含む約300食が用意された。

この日は、調理せずに食べられる非常用のレトルトカレーと牛乳、焼きプリンのタルトの3品が提供された。このうち会見小では児童が「おいしい」「固い」

などと互いに感想を話しながら昼食を楽しんだ。

自宅のガラスが割れ、祖母の家に避難しているという同校4年の恩田穹さん(10)は「いつものカレーと違って冷たかったがおいしかった。災害なので仕方ない」と話した。

生田久枝校長は「子どもたちがいつもと変わらず楽しく登校し、給食を食べてくれて安心した。一日も早い復旧を望むが、非常時の経験は子どもたちの学びになる」と語った。

町教委によるとレトルトカレーは9日も提供される予定で、自宅から弁当を持